

第3回大船渡市スポーツ施設整備基本計画検討委員会

日時 令和2年8月6日(木) 午後1時30分

～午後3時

場所 シーパル大船渡2階大会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 報 告

第2回大船渡市スポーツ施設整備基本計画検討委員会について【資料1】

4 協 議

大船渡市スポーツ施設整備基本計画（素案）について【資料2，3，参考資料】

5 そ の 他

6 閉 会

大船渡市スポーツ施設整備基本計画検討委員会 委員名簿

任期：令和２年５月２９日から所掌する事務が完了する日まで

(五十音順)

氏 名	所 属 等	備 考
浅 沼 道 成	国立大学法人岩手大学人文社会科学部 教授	
上 村 弥	一般財団法人大船渡市体育協会 事務局長	
上 関 み さ	大船渡市健康づくり推進員	
熊 谷 侑 希	NPO 法人さんりく WELLNESS 代表	
古 座 勝 利	一般社団法人岩手県建築士事務所協会 気仙支部 事務局	
金 野 敏 夫	社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会 事務局長	
佐 佐 木 浩 美	大船渡市男女共同参画審議会 会長	
志 田 秀 香	大船渡市社会教育委員	
鈴 木 弘	一般社団法人大船渡市観光物産協会 事務局長	
高 橋 大 樹	一般公募	
谷 山 誠 志	大船渡市スポーツ少年団本部 本部長	
新 沼 邦 夫	大船渡商工会議所 専務理事	
新 沼 良 治	立根地区公民館 館長	
三 宅 肇	一般公募	
山 口 康 玄	一般社団法人大船渡青年会議所 理事長	

3 報告

第2回大船渡市スポーツ施設整備基本計画検討委員会について

令和2年7月8日(水)、第2回会議として、検討委員会による市内の主要なスポーツ施設の視察を行った。概要については、次のとおり。

① 視察施設

- ・ 市営球場
- ・ 赤崎グラウンド
- ・ 三陸総合運動公園
- ・ 三陸B&G海洋センター

② 行程

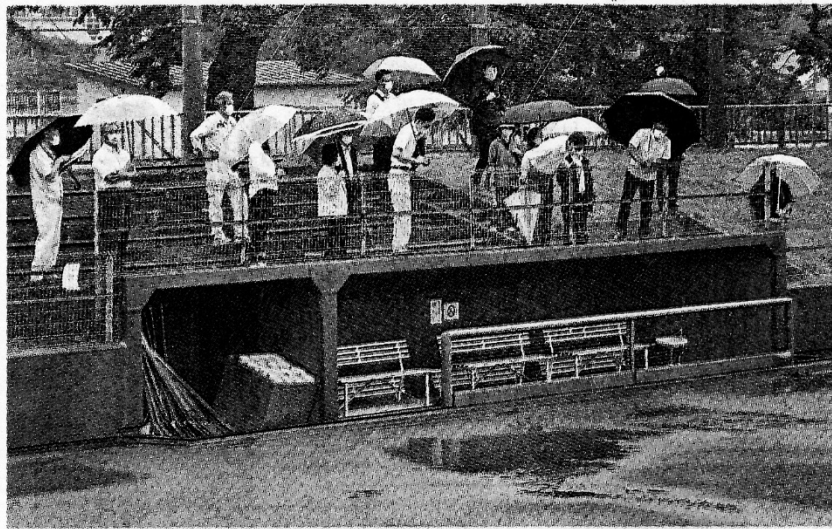
下表のとおり。

時 間	内 容	場 所	備 考
13：30	スポーツ施設整備基本計画検討委員会委員集合、出発	大船渡市民体育館	委員 13名 事務局 4名 運転手 1名
13：50	市営球場到着、施設視察	大船渡市営球場	
14：10	〃 出発		
14：30	赤崎グラウンド到着、施設視察	赤崎グラウンド	
14：55	〃 出発		
15：15	三陸総合運動公園到着、施設視察	三陸総合運動公園 B&G 海洋センター	
16：00	〃 出発		
16：30	市民体育館到着	大船渡市民体育館	

市営球場の老朽化など確認

整備から
56年経過 スポーツ施設整備計画検討委

大船渡



市内スポーツ施設では最も古い市営球場などを視察（電子新聞に別写真あり）

大船渡市スポーツ施設整備基本計画検討委員会（委員長・新沼邦夫大船渡商工

は8日、市内体育施設の視察を行った。末崎町の市営球場などを回り、現在の利用状況に加え、老朽化や利用時の不具合などを確認。

委員会では、効率性や広域利用など総合的な観点を踏まえ、将来像を探る。

今後の効果的、効率的な施設運営推進を目的とした同計画は、今年2月に策定した市スポーツ推進計画の個別施設計画に該当。同委員会は、スポーツ施設整備検討委員会が昨年度取りまとめた検討結果を踏まえて、市側がまとめた計画案に対して意見を行う。

委員は体育活動、健康づくり、建築、福祉、観光などの各分野の関係者に加え、公募住民で構成。今年5月の第1回会合後に続く視察となった。

この日訪れたのは、末崎町の市営球場と赤崎町の赤崎グラウンド、三陸町綾里の三陸総合運動公園とB&G海洋センター。委員は各施設に入り、市職員らから説明を受けた。

市営球場は、昭和39年の整備から56年が経過。平成23年の東日本大震災を受けて仮設住宅が建設され、30年から再び野球などの利用が可能となった。

グラウンド状態は良好だが、震災前から照明設備がなく、夜間利用ができない。さらに駐車場が狭く、大会開催時に運営面で支障をきたす状況が続いている。

市側では、防球ネットが低いことから、近年は硬式野球の利用を控えている現状も説明。施設全体の老朽化や、救護室などのスペース不足も話題となった。

市営球場は基本計画期間内に耐用年限（60年）を迎える。基本計画では、昨年度のスポーツ施設整備検討委員会での早期の建て替えを求める声が多く寄せられた

盛町の市民体育館とともに、個別に検討を深める。

次回の基本計画検討委員会は、来月開催の見込み。11月まで会合を重ね、市側が示した基本計画案に対して意見を行う。基本計画では、各種施設の現状・環境評価に加え、今後の施設整備に関する行動計画などを取りまとめることにしている。